

**言いたいことがうまく伝わらないのはなぜ？
『よりよい人間関係をつくる「伝える力」スキルアップコース』**

～ eラーニングライブラリにて開講 ～
スマホ・タブレット端末対応も同時開講

日本能率協会マネジメントセンター(代表取締役社長：長谷川隆、港区、以下 JMAM[ジェイマム])は、eラーニングライブラリ¹の新コースとして、『「伝える力」スキルアップコース』を2014年1月27日より開講しました²。本コースのターゲットは、すべてのビジネスパーソンです。

本コース開発の背景には、職場のコミュニケーション不全が引き起こすメンタルヘルスの問題があります。厚労省調査では、仕事や職業生活に関して強い不安や悩み、ストレスを感じている人は労働者全体の約6割にも上っており、その事柄として「職場の人間関係の問題」を挙げる人は4割と、仕事そのものの質や量そのものよりも大きな影響を与えています(平成24年労働者健康状況調査より)。

実際に、言いたいことが言えないことで何らかのストレスを溜め込み、心身にも不調をきたすという例もあり、職場でのより実践的なコミュニケーション力をつけることが求められています。そこで、**自分の考えや意見を上手に伝えられるようにする「アサーション・スキル」**を取り上げることで、コミュニケーション力を改善することを開発のねらいとしています。

本コースでは、気持ちよく働ける職場環境づくりのために、人間関係づくりの基本となるコミュニケーション力を、「アサーティブ(相互尊重の自己主張)」なスキルと心構えから解説します。次に、「伝え方のコツ」や上司・先輩など「言いにくい相手に伝える」ことを具体的なケースをもとに学習します。

eラーニングライブラリは、監督者が個人毎の学習履歴や状況を簡単に把握できるほか、費用についても本コースを含む全79コースを一人あたり3,780円³というリーズナブルな価格で受講することが可能です。パソコン、スマホ、タブレット端末などのインターネットを通じて手軽に取り組むことができる自己啓発ツールとして、現在、1100社を超える企業・団体に導入されています。管理職への人事・労務管理教育や全社一斉のコンプライアンスおよびメンタルヘルス教育、内定者・新入社員教育、英語・中国語などのグローバル教育など、各社で幅広く活用されています。

JMAMでは今後も、企業の人材育成を支援するべく様々なサービスを展開していく予定です。

日本能率協会マネジメントセンター (JMAM) について：JMAMは、日本能率協会(JMA)グループの中核企業として1991年に設立されました。通信教育・研修・アセスメント・eラーニングを柱とした人材育成支援事業、能率手帳の新生ブランド『NOLTY』や『PAGEM』を代表とする手帳事業、ビジネス書籍の発行を中心とした出版事業を通じて、「成長したいと願うすべての人」を支援し続けていきます。www.jmam.co.jp

株式会社 日本能率協会マネジメントセンター 広報担当

TEL:03-6253-8039 FAX:03-3575-2630 E-mail:PR@jmam.co.jp

株式会社 日本能率協会マネジメントセンター eラーニング事業本部

TEL:03-6253-8025(直通)

¹ JMAMが提供する「eラーニングライブラリ」は、「難しい」を「わかりやすく」、「手軽に学べて、満足できる」ことを特長とし、インターネットで、1年間、いつでも、何度でも受講できます。内定者・新人から管理職までの階層別教育、コンプライアンスやビジネススキル、語学といった目的別教育、技術・技能教育など幅広いラインナップとなっています。また、eラーニングライブラリの大きなメリットとして、契約期間中は追加料金無しで、新コースが随時追加されていくことです。法改正等に伴う、教材改訂も随時実施しており、継続的にeラーニングライブラリの充実を図っています。2014年2月現在、全134コースをラインナップし、約1100社、のべ約37万人が利用しています。価格例：マネジメント系ライブラリ(2014年2月現在79コース)の場合、100名様378,000円(税込)にて提供 http://www.jmam.co.jp/productservice/elearning_lib/index.html

² JMAM発行の書籍『早く一人前になるための仕事の覚え方』をもとに開発されました。

³ マネジメント系ライブラリで100名様、税込価格378,000円にてお申し込みいただいた場合の金額となります。ご契約内容に応じて、費用は変動いたします。

【 JMAM eラーニングライブラリ 『よりよい人間関係をつくる「伝える力」スキルアップコース』概要 】

■ **ねらい**

- ①セルフチェックをつうじて、自分自身の「伝え方」のよい点悪い点を振り返ります。
- ②アサーティブなコミュニケーションを理解することで、よりよい人間関係づくりのベースをつくります。
- ③「伝える」相手別・場面別に「伝え方」の具体的なコツを理解します。

■ **監修**

大串 亜由美 (株式会社グローバリンク 代表取締役)

■ **開講時期**

2014年1月27日

■ **学習時間**

最短実行時間 30分
想定学習時間 2時間

■ **対象**

すべてのビジネスパーソン、特に若手中堅社員

■ **カリキュラム**

1. 伝えたいメッセージを届けるには？

- 1-1 なぜ伝わらないのか？
- 1-2 自分を大切にすること・相手を大切にすること

2. 伝え方のコツを知る

- 2-1 《セルフチェック》あなたの伝え方のタイプは？
- 2-2 伝え方のコツ1：強すぎるとは伝わらない
- 2-3 伝え方のコツ2：弱すぎても伝わらない
- 2-4 伝え方のコツ3：思い込みを捨てる
- 2-5 伝え方のコツ4：正直な気持ちを伝える

3. 相手別・場面別 言いにくいことをきちんと伝える

- 3-1 言いにくいことを伝えやすくする5つの鉄則
- 3-2 どういう相手や場面で言いにくい？
- 3-3 言いにくい相手に伝える(1)
- 3-4 言いにくい相手に伝える(2)
- 3-5 言いにくい状況で伝える

4. エピローグ

- 4-1 トライ&エラーで繰り返し「伝える」

■ **コース体験版**

http://www.jmam.co.jp/productservice/elearning_lib/detail/vfz.html

■学習画面

1-2 自分を大切にする・相手を大切にする より↓

1-2 自分を大切にする・相手を大切にする 次の学習へ進みましょう ©2014 JMAM

アサーティブに伝えるための
3つの前提条件

「伝えたいこと」がある

伝えるべきことが曖昧では相手も受け止められない

伝える「意欲」がある

どうせ伝わらない、言ってもムダ

伝える「スキル」を身につける

このコースで身につけよう

表情や言葉に表れてしまう

WIN-WINが成り立つコミュニケーション
アサーティブ・コミュニケーション
Assertive
～相互尊重の自己主張～

そして、うまく伝える「スキル」を身につけること。
次の章から、伝え方のスキルを学んでいきましょう。

戻る 一時停止 進む

字幕 非表示 音量 0 スライダー 学習時間 01分52秒

2-3 伝え方のコツ2 弱すぎても伝わらない

2-3 伝え方のコツ2:弱すぎても伝わらない ©2014 JMAM

《パッシブからアサーティブへの改善ポイント》 **パッシブ度の高い人**

短く・端的に話す
誤解を招かないように話す
前置きは少なめに
言い訳は、自分ではなく相手のために相手の目を見ながら伝える

意思をハッキリ伝えるのが苦手

パッシブ アサーティブ アグレッシブ

自分の意思をハッキリ伝えるのが苦手な、パッシブ度の高い人ですが、仕事に必要な“イエス”“ノー”は、ハッキリ返してもらわなければなりません。

戻る 再生 進む

字幕 非表示 音量 0 スライダー 学習時間 03分37秒

3-3 言いにくい相手に伝える(1)

3-3 言いにくい相手に伝える(1) ©2014 JMAM

人が集中して聞ける時間は15秒!

初対面の人

会う前に明確に 会う理由(なぜその人と会うのか)
会う目的(その人に何を伝えるのか)

自己紹介 約15秒

- ①会えたことへの感謝
- ②相手の関心を尊重
- ③相手のメリット
- ④メリットの裏付け
- ⑤所要時間

お時間をいただき、ありがとうございます。
コスト削減に力を入れていると伺いましたので、
新商品をお持ちしました。
すでに3社にご導入いただき、
作業時間を4割削減した実績があります。
質問にお答えしたいので、説明は10分ほど。

15秒が、人が集中して聞けるギリギリの長さです。

戻る 再生 進む

字幕 非表示 音量 0 スライダー 学習時間 03分18秒